



### ◆11月のCP市場動向

11月末のCP市場残高は25兆964億円で前月比8,019億円増加した。前年同月比では6,699億円の増加となった。発行市場では、良好なCP発行環境の継続もあり、陸運業やその他金融業の発行が高位に推移したことから、市場残高が増加した。業種別残高では、その他金融が11兆1,898億円(前月比+895億円)、一般事業法人が10兆4,204億円(同+1兆394億円)とそれぞれ増加した。一方、金融機関は2兆484億円(前月比△947億円)、ABC Pは1兆4,378億円(同△2,323億円)と減少した。発行レートは、幅広いレンジでの出会い。大型の発行を行った銘柄では0%近辺の出会いも見られたが、コロナオペの残高は増加傾向にあり、担保目的等のCP引受需要は依然として高いことから、マイナス圏内での出会いが中心となった。

### 【新発3M物の発行レート】

最上位銘柄(A-1+格) 0.000%割れ 一般事業法人(A-1格) 0.000%割れ  
 その他金融銘柄(A-1格) 0.000%割れ

### 【業態別残高内訳】

(単位：億円)

業 態	11月末残高	10月末残高	増 減
一般事業法人	104,204	93,810	10,394
その他金融	111,898	111,003	895
金融機関	20,484	21,431	-947
政府系金融	0	0	0
銀行等	2,739	2,729	10
証券	17,745	18,702	-957
ABC P	14,378	16,701	-2,323
計	250,964	242,945	8,019

(注：買入消却分含む)

### 【格付け別の発行レート】

格 付	1ヵ月		2ヵ月		3ヵ月	
a-1+ (一般事業法人)	-0.002%	～ 0.000%	-0.078%	～ -0.026%	-0.054%	～ 0.000%
a-1 (一般事業法人)	-0.068%	～ 0.000%	-0.062%	～ -0.003%	-0.080%	～ 0.000%
a-1+ (リース銘柄)	—	～ —	-0.014%	～ —	—	～ 0.001%
a-1 (リース銘柄)	-0.078%	～ 0.022%	—	～ 0.009%	0.000%	～ 0.005%
a-2	0.001%	～ 0.170%	—	～ —	-0.023%	～ 0.210%

「CPオペ」

CP等買入れオペは、当初予定通り2回の合計1兆円で実施された。11日オファー分の結果は、前回比横ばいの按分レート△0.015%となったが、25日オファー分は、月末の大量発行を控えたディーラーの在庫調整ニーズもあり、按分レート△0.014%と小幅に上昇した。  
(月末オペ残高：3兆1,772億円)

【日銀CP等買入れオペ実績】

(単位：億円)

実施日	実行日	オファー金額	応札額	落札額	按分・全取	平均落札	按分比率
11月11日	11月16日	5,000	8,783	4,973	-0.015%	-0.013%	71.5%
11月25日	11月30日	5,000	7,822	4,999	-0.014%	-0.011%	29.4%

「ABC P」

ABC Pは、1兆4,378億円と前月比2,323億円の減少、前年同月比では2,799億円の減少であった。

「短期社債登録状況」

証券保管振替機構によると、11月末時点における発行登録企業数は変わらず、543社であった。

「CP現先市場」

現先(S/N)レートは運用ニーズ変わらず、マイナス～0%近辺での出会いとなっていた。

◆12月のCP市場動向

12月のCP発行市場は、例年と同様、月中については企業の年末に向けた賞与資金や納税対応等により発行増加が見込まれる。月末の発行残高については、四半期末での有利子負債圧縮ニーズが見込まれることから、前月末を下回る水準での推移を予想する。発行レートは、コロナオペ担保需要等から、期越銘柄や希少銘柄等に対しては引き続きマイナス圏での出会いが中心となる一方、発行頻度の多い銘柄等では0%近辺での出会いが予想される。

「CPオペ」

CP等買入れオペは、14日と27日でそれぞれ5,000億円のオファー予定となっている。CP市場残高が高水準で推移しているものの、引き続きディーラーの引受ニーズもあり、按分レートは前回比横ばいから低下を探る展開を予想する。

「CP現先市場」

CP現先レートは、0%近辺での出会いを予想する。

\* 参考資料 (出所：証券保管振替機構)

【11月末発行残高 上位10社】

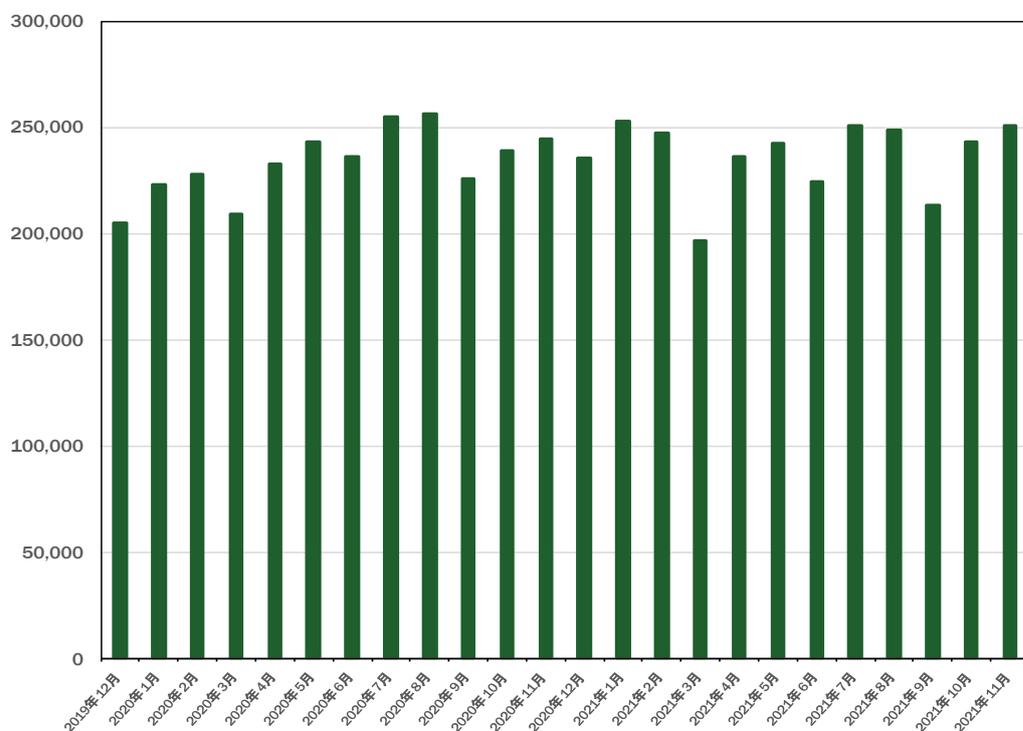
(単位：億円)

	発行企業名	11月末残高	10月末残高
1	NTTファイナンス株式会社	17,560	16,360
2	三井住友ファイナンス&リース株式会社	9,429	9,538
3	NTT・TCリース株式会社	7,440	7,900
4	コンチェルト・レシーバブルズ・コーポレーション	6,889	7,707
5	三菱HCキャピタル株式会社	6,042	5,955
6	みずほリース株式会社	5,995	6,040
7	関西電力株式会社	5,400	4,900
8	日本証券金融株式会社	5,244	4,924
9	株式会社クレディセゾン	5,020	5,210
10	みずほ証券株式会社	4,905	4,905

【短期社債市場残高】

(2019年12月～2021年11月)

(単位：億円)



---

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。

有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。

記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。

#### **上田八木短資株式会社**

登録金融機関 近畿財務局長（登金）第 243 号

東京本社 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町 1 丁目 2 番 3 号 TEL : 03-3270-1711（代表）

大阪本社 〒541-0043 大阪府大阪市中央区高麗橋 2 丁目 4 番 2 号 TEL : 06-6202-5551（代表）

加入協会 日本証券業協会